

事業計画書

1. 事業名称 「昔のあそびとわらべうたⅢ事業」

2. 実施主体

■ 団体名： 「昔のあそびと遊ぼう会」

■ 事業担当課： 「松戸市六実支所」

3. 取り組もうとする課題

核家庭化の影響からか親から子、子から孫へ遊びを教えられる人が少なくなってきました。また老人・青年・子供の世代にまたがりコミュニケーション手段がなく一緒に楽しめることが無くなっています。

「昔の遊び・わらべうた・わらべうたあそび」を広めることにより、親と子、孫との共通の話題作りを提供できるようになり、地域の世代間交流ができるようになります。

さらに地域住民全体に輪を広げていくことにより地域の活性化に寄与できるものと確信します

4. 事業内容及びスケジュール

平成24年度は、知的障害者施設にて開催し、できないと思われていた「こま」を回すことができ、新鮮な感動がありました。次年度も継続して施設での開催及び、地域の他団体との連携を緊密（連合町会、井戸端会議等）にして、昔あそびを広め開催し地域の一大イベントにしていきます。また東日本大震災の復興支援を他団体と連携していく。

	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
4月～6月	① 4月：地域のイベント桜まつり参加 ② 5月：けん玉・カブラ講習会	祭り来場者、指導員、さくら通り 地域住民、講師、指導員、障害者施設
7月～9月	③ 7月：こま・まりつき・お手玉、けん玉、カブラ講習会 ④ 8月：坂川祇灯まつりに参加 東日本大震災支援を他団体と連携	地域住民、講師、指導員、高齢者施設 地域住民、指導員、松先稲荷神社前
10月～12月	⑤ 10月：地域イベント「六実っ子まつり」 小学校、中学校と協働で参加 ⑥ 12月：こま・はねつき・めんこ、けん玉、カブラ講習会	地域住民、指導員、小学校、中学校、市民センター 地域住民、講師、指導員、市民センター
1月～3月	⑦ 2月：昔のあそび・わらべうた大会 ⑧ 3月：年度の反省と次年度計画作成	地域住民、講師、指導員、市民センター 指導員代表、支所、協働推進課
年間を通して	⑨ 定例会 ⑩ 地域の団体と連携強化共同開催	誰でも参加自由、会員、市民センター 桜友会、五香児童館、保育園

5. 事業に期待する成果

- ・講習会参加した人員 各講習会の参加 50名以上
- ・六実桜まつり、六実っ子祭りでの参加 各々100名以上
- ・他団体（保育園、桜友会、五香児童館等）とより緊密に連携化し、地域の活性化が期待できる。

6. 協働の意義

- ・当会だけでは、情報入手に限界があり、支所の協力が必要である。
- ・支所との協働事業を行うことで、会に対する信頼度が格段に向上する。
- ・他地区の情報や他支所の情報が得やすくなる。
- ・支所として当会との協働事業をすることにより今迄知り得無かった草の根の情報が入手出来行政に役立つことになる。
- ・会員との信頼関係を深める事により、会員には、町会役員、民生委員・児童委員、防犯指導員、高齢者支援相談員、障害者支援に関わっている者もあり、突発事故発生時に近い協力者になってもらえる。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

- ・「昔あそび、わらべうた、わらべうたあそび」の技術の提供。
- ・同上の指導要員の提供。
- ・同上のイベント実施する際の企画・運営。

■ 担当課の役割

- ・支所で管理している公益の場所の提供・調整。
- ・広報等の掲載。
- ・支所管内のイベント情報の提供。

8. 将来の展開

住民同士が知合い、子供達も顔見知り、互いに挨拶を交わせる街になり、子供たちから町で、「おはようございます」、「お手玉の先生だ」、「けんだま名人だ」、「わらべうたの先生だ」、「コマ回し名人だ」とあいさつする町にしていきたい、また大人同士が顔見知りになり、歳をとっても自宅内に引籠らずにみんなが集ってあそべるものを作りあげたいと思っています。

そのためには、指導員の増員や世代交代、PRも欠かせないと思っておりますが、先ず六実支所管内で遊びの活動を重ね、成果を確認しながら子供達を育て、指導員の育成を図り「わらべうた・わらべうたあそび」等古きよきものの伝承を図って行くことにより、いきいき安心して生活できる地域社会をつくりあげる。

協働事業終了後も活動できる下地ができてきたので、今後も継続して地域イベントを盛り上げていく。

事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】		（単位：円）	
提案者	（自己資金）	金 額	積算内訳
	会費	68,400 円	19人×3600円/年
	寄付金	10,000 円	
	参加費	10,000 円	200人×50円/人
	自己資金合計（a）	88,400 円	
	労力換算額計（b）	464,000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	296,800 円	
資金合計額（d）（a+c）		385,200 円	事業費（g）と同額
項 目		金 額	積算内訳
	報償費（講師代）	105,000 円	7回×15000円（注1）
	印刷製本代	140,000 円	チラシ100,000円（注2） パンフレット40,000円（注3）
	材料費	109,000 円	（注4）
	保険料（行事保険）	11,200 円	400人×28円（注5）
	対象となる経費合計額（e）	365,200 円	
その他の 経費	指導員飲食費	10,000 円	
	指導員交通費	10,000 円	
	その他経費合計（f）	20,000 円	
事業費（g）（e+f）		385,200 円	

（注1） 7回内訳 けん玉（4回：②、③、⑥、⑦）、こま（3回：③、⑥、⑦）

（注2） チラシ2000枚×50円=100,000円（内訳 ②、③、⑥、⑦各500部）

（注3） パンフレット 4000枚×10円=40,000円

（注4） 材料費 けん玉（30個×1,000円=30,000円）、ヨーヨー（大3個×2,000円=6,000円、中10個×1,000円=10,000円、小10個×500円=5,000円）、こま（50個×200=10,000円）、南京玉すだれ（5個×1,000円=5,000円）、おはじき（1箱×3,000円=3,000円）、カブラ（4箱×10,000円=40,000円）

（注5） 保険料 400人の内訳（②、③、⑥、⑦：各50人、⑤：200人）

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
	活動計画		人数×時間×回数×500円
労力換算	① 地域イベント桜まつり指導員工数	152,000円	19人*8H*2回*500円
	② けん玉・カブラ講習会指導員工数	22,500円	15人*3H*500円
	③ こま・まりつき・お手玉・けん玉・カブラ講習会指導員工数	22,500円	15人*3H*500円
	④ 献灯祭り指導員工数	22,500円	15人*3H*500円
	⑤ 地域イベント六実ッ子まつり指導員工数	66,500円	19人*7H*500円
	⑥ こま・はねつき・めんこ・けん玉・カブラ講習会指導員工数	22,500円	15人*3H*500円
	⑦ 昔のあそび・わらべうた大会指導員工数	37,500円	15人*5H*500円
	⑧ 年度反省資料打合せ・資料作成	4,000円	2人*2H*2回*500円
	⑨ 定例会指導員工数	90,000円	10人*3H*6回*500円
	⑩ イベント企画・チラシ原稿作成工数②,③,⑥,⑦及び追加催事チラシポスター作成工数(注)	24,000円	3人*4H*4回*500円
	(注) 項番①～⑨は事業内容の項番と対応していますが、項番⑩は対応していません。		
	合計 (b)	464,000円	